

NEW WAVE

ニユーウェーブ

ケアマネ通信

CONTENTS

一面 ホットニュース（介護保険改正どうなったか？）

二面 地区別会員紹介・・・西部地区

三面 各委員会活動報告

四面 新規施設紹介・・・小規模多機能施設「ふれあい」

平成 24 年 4 月 1 日発行 第 3 号

◆発行元◆

沼津介護支援専門員連絡協議会

気になる。どうなった？介護保険改正！！

H24 年 2 月 11 日に介護支援専門員連絡協議会研修委員会と長寿介護課の主催で日本社会福祉事業大学、准教授 平野方紹氏を講師に迎えて介護保険改正についての研修会を行った。今まで連絡協議会として研修を行った中でも最多数の参加者があり、介護保険改正への高い関心が伺えた。今回の制度改正の大きな方向性は「地域包括ケアシステムの確立」が挙げられている。H17 年の介護保険法の改正では夜間対応型訪問介護や小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスが導入されたが、今回はさらに一步踏み込んだ改正となっている。団塊世代が 75 歳以上となり、特に大都市圏での高齢化がピークを迎えるといわれる 2025 年問題を視野に入れ、高齢者が住み慣れた地域で医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供できるように「24 時間対応型の定期巡回・随時対応サービス」や「複合型サービス」等の創設が明記されている。紙面では最新情報や詳細を掲載する事が困難な為、下記のお役立ちホームページ等で情報を収集していただきたい。

ふくしじん www/fukushijin.com

けあまねドットコム（無料会員登録必要） www.care-mane.com

※厚生労働省ホームページ等でも確認して下さい

H24 年度診療・介護報酬改定

高齢者が病気を抱えつつ自宅で暮らすには医療と介護の連携が欠かせないが、今年は 6 年に 1 度の診療報酬と介護報酬の同時改定の年にあたり、入院患者が在宅療養を円滑に始められるための支援策や 24 時間体制の医療・介護サービスが強化される。

【医療】4 月から強化

- 退院のための相談・計画作り（入院早期から在宅療養に向けて地域関係者と話し合うと報酬が厚くなる）
- 退院前の一時外泊や退院当日の看護師が訪問（医療度が高い患者が退院前に一時外泊する際、訪問看護サービスを保険で利用できる）
- 24 時間対応型の在宅医療（24 時間体制で往診する在宅療養支援診療所も条件を満たせば緊急時や夜間の往診料を増やす）
- 在宅での緩和ケア（ガン患者専門の訪問看護料のアップ）

【介護】4 月から新スタート

- 24 時間対応の訪問介護・看護サービス（日中や夜間に、ヘルパーや看護師が高齢者宅を定期的に複数回訪問するほか、利用者の呼び出しに応じて駆けつけるサービス・月額定額制）
- 介護と看護が受けられる複合型サービス（利用者の状況に応じた通い・泊まり・訪問サービスを提供・月額定額制）

会員紹介コーナー 西部地区編

こずわ居宅 吉口 光美 川村 智子(新会員)

中村 恵子(新会員) 杉本 るみ



萩野クリニック(居宅介護支援事業所)

植松 智子 萩野 裕子



あしたかホーム

河村 千枝 中司 樹美



ユニットケア 村松 誠(新会員) 仲村 考良(新会員)



みはるの丘浮島

長倉 浩之(新会員)



ちょうどえ～ 関 育代



野の花 戸塚 芳子



はら包括支援センター

深沢 康久
佐藤 智道
真田 恵

はら居宅 田代 智恵子



沼津市立病院 山本 里佳



ever優 グループホーム沼津

若林 直子(新会員)



片浜支援センター

瀬川 秀則

田村 尚子

金子 康子(施設)



デイサービスけやき

内田 祐子(新会員)



タカネ園 長橋 秀樹 小野 裕子



各委員会活動報告

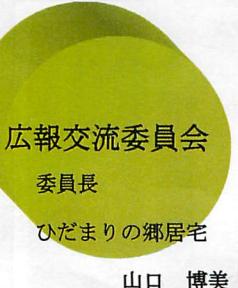


倫理研修委員会として発足し、2年目に入りました。皆様からの希望に応えるべく企画を19名の研修委員も頑張って考えております。また、先日沼津市と共に「法改正・地域包括ケア」の研修では約120名の参加があったことは誠に嬉しい次第です。今後はケアマネの倫理、モラルの向上、職能団体として他職種との連携作り、地域での連携作りなど、幅広く多方面へ出向いていく必要があると思っております。所属事業所や地域という枠に捉われず、会員の皆がスキルアップできるように、「連絡協議会に入ってよかったです、こんな特典がある！」と会員の皆様に喜んでいただけるように頑張っていきたいと思います。皆様の声をどうかお聞かせください。



業務支援委員会では、昨年度から引き続き「地域資源マップ作成事業」に取り組んでいます。現在のところ、会員の皆様にご協力いただいた「ケアマネが知りたい情報」に関するアンケートを分野毎に集約するところまで進んでおり、今後は掲載する情報の選定を行った後に医師会、歯科医師会、薬剤師会の各運営委員会の先生方のご協力をいただきながら介護サービス事業者・施設を含め情報の収集作業を行ってゆく予定です。

本事業は、完成に向けて活動を継続していくわけですが、今回の事業を通して行った「ケアマネが知りたい情報」についてのアンケート結果は、本委員会のテーマである「他機関・他職種との連携促進」についての課題や手段が集約されているように思います。アンケート結果を見ながら会員の皆さん、「困っている」、「どうにかしたい」という想いが伝わってきます。頂いた意見は本事業だけでなく、今後の活動に活かしたいと思います。



H23 年度は 2 回広報を発行しました。創刊号は会員だけでなく市内の各施設や県内の連絡協議会にも配布する事ができました。

また、業務支援委員会の方が三師会や市役所に持参し、ご挨拶をする等、連携を図る上でも役に立つたかな？と思っています。10月 14 日には「和民」で交流会を行い、薬剤師会・歯科医師会の委員さんも交え 37 名と多くの参加がありました。楽しい時間を共にすることで、より一層、連絡協議会を身近に感じる事が出来れば嬉しいなと思っています。皆様のご意見お待ちしております。



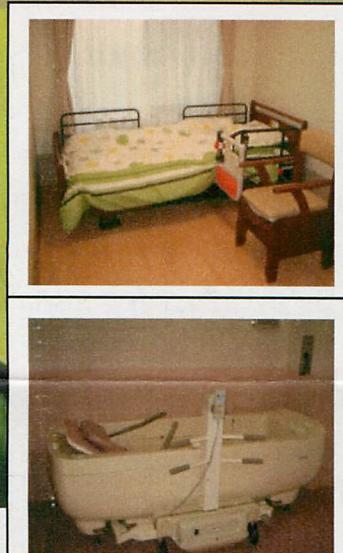
今年度の社会活動委員会は 3 つの大きな柱を軸に活動してゆく内容となっています。1 つ目の柱はケアマネとしての防災マニュアル作成です。2 年以上取り組んでいる案件ですが、行政・各自治会・各職能団体との連携を考えると範囲が広く膨大です。作成メンバーが防災の講習参加や実際に被災地にボランティアに行き体験して得た情報等を収集しながらの作業になっており困難を極めている状況です。2 つ目の柱は、徘徊者検索システムの開発です。「オレンジレスキュー」と名称を付け活動しており、昨年の 11 月には、はら包括主催で行政協力を得ながら、沼津市初の徘徊者検索模擬訓練を実施させていただきました。地域住民の方も参加しての開催になり一応の成功を収めましたが、課題点も見つかり調整をしてゆくことになっています。今後の第 2 回の開催も予定されています。3 つ目は炊き出しチームの立ち上げです。上記の徘徊者検索模擬訓練のときには訓練後の反省会時に食べる豚汁 50 人分を炊きました。今後も災害や徘徊の講習会を開催する時に活躍して行く事が当面の目標です。また、上記の活動に加え、東日本大震災義援金の募集金を連絡会会計と集計し、沼津朝日新聞社を介して日本赤十字社に送らせていただく等の活動も継続して行ってゆきたいと思います。今後とも会の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

新事業所のご紹介



小規模多機能ホームふれあい黄瀬川の施設長兼計画作成担当者の岩間玉紀と申します。グループホームふれあい黄瀬川の 1 階部分をリニュアルして、小規模多機能ホームふれあい黄瀬川が 3 月 15 日からオープンしました。沼津市としては初の小規模多機能型居宅介護となります。それに先立ち、3 月 10 日～13 日の 4 日間内覧会を行いました。期間中は大勢の方のご来場と 10 件の仮申し込みをいただきました。ご来場いただきました方々に感謝です。

近隣の小規模多機能施設を見学したり、ノウハウ本を勉強したり、行政に伺ったり… 皆様のご支援をいただきつつ、一生懸命勉強して良いサービスを提供します。



ご 報 告

「東日本大震災」で被災された方々にと、会合のたびに募金箱を回し、会員の皆様には、ご寄附頂き大変感謝しております。義援金は「六万四千百八十七円」集まりました。H23 年 12 月 16 日に沼津朝日新聞社を通じ、日赤窓口の沼津市社会福祉課に寄託いたしました。本当に有難うございました。

編集後記に変えて ~広報誌コラム by タカネ園、長橋 CM

~もし、女子ケアマネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら~

経営学者の P・ドラッカー博士を扱った「もしドラ」がベストセラーになっていたが、ケアマネとしても学ぶべきことは決して少なくない。ドラッカーは、「強みの上に築け！」と、著書「明日を支配するもの」の中で取り上げている。強みというものは自分だけでは、わからない。他との交流とそこからの率直なフィードバックによってのみ知りえる事を強調した。各人の持つ、こうした「強さ」の最も効率的な結びつきを見つけるのがマネージャーの役割だと主張している。ケアマネも利用者の強みを見出して効果的な計画を立ててあげるようにしてあげたいですね。